

法人運営開始から1年が経過した。移譲を心配されていた保護者の方とは信頼関係を築けてきているが、今後も信頼関係をさらに深めていけるよう、ご本人やご家族の方々のご意見・ご要望を聞きながら事業を運営していく。

就労継続支援事業では、4月からパンの製造・販売を行う。パン事業を開始することで、安定的な収入の確保を目指し利用者の工賃アップを図っていく。また、パン販売を通して近隣の方への理解を深める。

生活介護事業では、利用者の健康・安全を最優先に、利用者一人一人の方々が楽しく充実した生活を送れるプログラムを提供していく。また、新たな入所者については、それまで通っていた施設と十分な引継ぎを行い、利用者の方がスムーズに移行していけるよう配慮していく。

ショートステイ事業は、多様なニーズに応えていけるように夜間専門支援員の配置と共に、職員の専門知識、技術の向上に努める。

送迎車による利用者送迎は引き続き行い、保護者の方の負担が軽減できるよう配慮する。

1 施設運営

(1) 実施事業

- ・生活介護事業
- ・就労継続支援事業
- ・ショートステイ事業

(2) 利用者の処遇

- ア. 利用者定員… 生活介護事業 32名
就労継続支援事業 10名
ショートステイ事業 2床

イ. 処遇目標・方針

- ・法人の理念に基づき、利用者の人権を尊重し、利用者一人一人が社会の一員として、より豊かに暮らしていけるよう適切な援助を行い、自立を促進することを目標とする。
- ・利用者一人一人の健康状態、生活における能力などを正しく把握し、個別支援計画を作成する。また、個別支援計画は保護者の方からの同意を得る。
- ・個別支援計画に基づき、短期的な支援計画を明確にして支援内容の充実を図る。
- ・利用者の方が安定して生活できること、楽しみながら活動に参加できることを目標として日々のプログラムを立案する。
- ・生活プログラムを明確にし、見通しを持った生活を送れるように工夫する。
- ・就労継続支援事業では、新しくパン製造作業を開始する。利用者の方に無理のない作業内容やペースを配慮すると共に、働く喜びや目的を感じ取ってもらえる支援を行っていく。
- ・連絡ノートに日々の様子を記入し、保護者の方に所内での様子を知ってもらう。また、送迎時等の保護者の方と直接話せる機会を大事にし、支援内容についての意見を聞いていくと共に、家庭での様子等を具体的に聞いて支援に反映していく。
- ・車椅子の扱い方、足が不自由な方の転倒防止、癲癇発作への対応など、事故・怪我等が起きないようにマニュアルを整備し、安全管理の徹底を図る。
- ・非常勤職員も含めた勉強会を開催し、支援の統一性を高める。

ウ. 健康管理

- ・利用者の健康に留意し、職場、家庭、医療機関との連携を図る。
- ・薬の保持・服用は看護師が管理する。

- ・利用者が通院している医療機関に、付き添いが必要な場合は看護師や支援員が通院に付き添う。

- ・レントゲン検診、内科検診、耳鼻科検診を行う

- ・看護師とも十分な打ち合わせをして、利用者の健康に配慮した支援を行う。

エ. 主な行事

- ・毎月1回の外出

- ・一泊旅行

- ・クリスマス会等季節に合わせた行事

オ. 給食

- ・障害者自立支援法に基づく給食内容の実施に努める。

- ・一般食だけではなく、特別食（カロリー調整食、減塩食、刻み食、粥食）等、利用者の健康状態や咀嚼能力に応じた給食を提供する。

カ. 安全管理

- ・防災訓練を毎月1回実施する。

- ・災害時等の対策を常日頃から職員間でも確認し、利用者の方が安全に過ごせるように対応を徹底していく。

(3) 職員の処遇

ア. 職員体制

管理者（1名） サービス管理責任者（1名） 主任生活支援員（1名）

生活支援員（常勤8名・非常勤6名） 職業指導員（1名） 就労支援員（常勤2名・

非常勤1名） 看護師（非常勤1名） 運転士（非常勤5名）

調理師（常勤1名・非常勤3名）

イ. 会議

法人全体集会 GK全体職員会（年3回） 成人部門職員会（年2回）

運営会（月1回） 成人部会月1回 事務職連絡会 職員会議 ケース会議

ウ. 研修計画

- ・法人 新人職員研修 全体職員研修 施設長研修 主任研修

- ・ブロック内 全体職員研修 実践報告・合評会

- ・外部研修 各自年1回以上

エ. 事務局体制

かがわブロック事務を統括し、法人本部事務局との連携をとるために小金井生活実習所に事務局の支部を構成する。

各施設会計責任者（3名） 事務員（常勤2名・非常勤1名）

2 施設管理

利用者が快適に過ごせるよう、必要な環境の整備・修繕を行う。

3 地域社会との連携

- ・送迎車の運転については出入りを含め近隣への配慮・安全を心がける。

- ・パンの販売をとおして、地域の方への理解を深める。

- ・実習生やボランティアを積極的に受け入れ、地域に開かれた事業所を目指す。